

授業科目(ナンバリング)	高齢者福祉(DB201)			担当教員	妻 孝承		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
65 歳以上の高齢者の人口は、2030 年に総人口の 30%を超えることが予測され、高齢者福祉の重要性も高まっている。本講義では、社会福祉士として理解すべく高齢者の定義と特性を踏まえ、高齢者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について学ぶ。また、高齢者福祉の歴史と高齢者観の変遷、制度の発展過程や高齢者に対する法制度と支援の仕組みについて体系的に学習する。加えて、高齢期における生活課題を踏まえて、社会福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。							①②④⑤⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	高齢者の定義と特性を踏まえ、高齢者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境及び歴史について理解するとともに、高齢者に関連制度の内容と実践を理解できる。				定期試験 小テスト	30% 15%	
情報収集、分析力	新聞やテレビなどのマスコミから高齢者福祉に関する情報を得て、分析できる。また、高齢者サービスについて資料を収集し、分析することができる。				課題レポート 定期試験	15% 10%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	高齢者の支援について、グループワークを活用して議論することができる。				授業内における参加度	5%	
多様性理解力	高齢者が置かれている多様な環境や本人の状況について理解することができる。				課題レポート 定期試験	15% 10%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>定期試験（50％）は、高齢者福祉に関する専門的な知識と法律の理解度を確認する（持ち込み不可；再試験を受ける場合は、必ず事前に教員に相談すること）。小テスト（15％）では、学習した用語・概念の理解度を確認する。課題レポート（30％）は、予習を含む高齢者福祉に関する多様な情報を収集し、今後の高齢者福祉のあり方について考察することを求める。課題内容については、授業中に説明する。また、必要に応じて、授業内でフィードバックを行う。</p> <p>なお、不適切な授業態度（教科書を持参しない、遅刻、私語、携帯電話等の使用、居眠り等）は、発覚した場合に減点の対象となる。</p>							
授業の概要							
<p>基本的には講義形式で授業を進めるが、必要に応じてグループワークを行い、ディスカッションとディベートを行う。授業は、配布レジュメに沿って進み、DVD 視聴や外部講師による講義が行う場合もある。この授業における予習復習は、授業中に明確に示すので、欠席した場合は、その内容について確認を行う必要がある。授業では、各回のテーマに関連する社会福祉士国家試験に対応する問題も取り入れる。</p> <p>この授業の授業外学習時間は、1 コマあたり 180 分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集（2021）『高齢者福祉』中央法規。</p> <p>参考書：授業の中で適宜紹介していくため準備は不要。</p> <p>指定図書：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集（2021）『高齢者福祉』中央法規。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>高齢者福祉は、社会福祉士指定科目である。そのため、高齢者の理解を始め、高齢者福祉の歴史、介護保険制度、関連法律の内容について具体的に理解すること。また、現場でも活用できる多様なサービスやシステムについて直接・間接的に経験する必要があるため、事例などを調べて置くことや統計データを収集する必要がある。さらに、現在の高齢者福祉制度の限界や問題点についても、根拠をもちながら論理的に説明できるように授業内容を理解してほしい。なお、指定図書のみならず各種の関連文献を読み、自分なりの高齢者福祉像を作成していくようにして欲しい。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション 高齢者の定義と特性	高齢者福祉論の授業についてシラバスに沿って説明する。また、高齢者の定義と特性について学ぶ。	予：教科書第1章 復：振り返りシートを提出する
2	高齢者の生活実態と これを取り巻く社会環境①	高齢者の生活実態や課題について学ぶ。 また、認知症高齢者の生活について理解する。	予：教科書第2章 復：振り返りシートを提出する。
3	高齢者の生活実態と これを取り巻く社会環境②	要介護高齢者の家族介護者について学び、その支援について理解する。	予：教科書第2章 復：振り返りシートを提出する
4	高齢者福祉の歴史	高齢者観の変遷や介護保険制度の創設までの日本の高齢者福祉の歴史について学ぶ。	予：教科書第3章 復：振り返りシートを提出する
5	高齢者に対する法制度 老人福祉法	老人福祉法や高齢者医療確保に関連する法律について学ぶ。また、介護保険制度の目的と意義について理解する（自立支援、利用者本位、介護保険全般）。	予：教科書第5章1-2節 復：振り返りシートを提出する
6	高齢者に対する法制度 介護保険法①	介護保険法の改正の歴史について理解し、地域包括ケアシステムを含む高齢者福祉の動向を理解する。また、要介護者認定、保険者と被保険者などについて理解する。	予：教科書第4章 復：1回～6回までの内容で小テストを行う
7	高齢者に対する法制度 介護保険法②	介護保険法におけるケアプランに基づく介護報酬について学ぶ。また、介護保険法における居宅サービスの種類と提供仕組みの全体的な内容について学ぶ。	予：教科書第4章 復：振り返りシートを提出する
8	高齢者に対する法制度 介護保険法③	1回～7回までの内容で小テストを行う。 介護保険法における施設サービス、地域密着サービスの意義と種類および内容について学ぶ。	予：教科書第4章 復：振り返りシートを提出する
9	高齢者に対する法制度 介護保険法④	地域支援事業について学ぶ。また、地域包括支援センターの役割と業務内容について理解する。	予：教科書第9章 復：振り返りシートを提出する
10	高齢者と家族等に対する支援 の実際①	介護予防サービスの意義と内容について学ぶ。介護保険法における総合事業について学ぶ。	予：教科書第6章 復：振り返りシートを提出する
11	高齢者と家族等に対する支援 の実際②	ゲストスピーカー 地域包括支援センターにおける高齢者と家族などに対する支援の実際について学ぶ。また、高齢者福祉分野における社会福祉士の役割について理解する。	予：ゲストスピーカーへの 質問を考える 復習：振り返りシートを提出する。
12	高齢者と家族等の支援における 関係機関と専門職の役割 (多職種連携)	多職種連携を理解しながら、高齢者支援における専門職の役割と実際について学ぶ。	予：教科書第7章 復：振り返りシートを提出する。
13	高齢者に対する法制度 高齢者虐待防止法	高齢者施設および在宅における高齢者虐待の現状と内容について学ぶ(早期発見、通報義務など)。また、セルフネグレクトについて議論を行う。	予：教科書第5章4節 復：振り返りシートを提出する。
14	高齢者に対する法制度 その他の法律	バリアフリー法、高齢者住まい法、高齢者雇用安定法、育児・介護休業法の概要について学ぶ。	予：教科書第5章5-7節 復：振り返りシートを提出する。
15	高齢者と家族等の支援における 関係機関と専門職の役割	高齢者福祉に対する国、都道府県、市町村の役割について学ぶ。また、指定サービス事業者、国民健康保険団体連合会、地域包括支援センター、ハローワーク、シルバー人材センターについて理解する。	予：教科書第7章 復：振り返りシートを提出する。
16	定期試験		